

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

 上場会社名 株式会社 ビイ・テクノロジー
 コード番号 7717 URL <http://www.vtec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

 (氏名) 杉本 重人
 (氏名) 中原 有庸

TEL 045-338-1980

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,770	—	664	—	613	—	364	—
20年3月期第3四半期	3,857	△62.9	△709	—	△753	—	△526	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	7,836.56	7,833.52
20年3月期第3四半期	△11,318.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	14,018	5,070	36.2	110,529.57
20年3月期	11,186	5,025	44.9	109,904.40

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,226百万円 20年3月期 5,025百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00
21年3月期	—	1,250.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1,250.00	2,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	132.0	850	—	790	—	600	—	13,079.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

 (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
-
- ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は2ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 46,583株 20年3月期 46,578株
-
- ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 708株 20年3月期 7株
-
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 46,482株 20年3月期第3四半期 46,513株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、2ページ[定性的情報・財務諸表等]3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 連結業績予想の1株当たり当期純利益の算定に当たっては、当第3四半期末の株式数(自己株式数を控除)により計算しております。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的金融不安が実態経済に波及し、内外需要の落ち込みから企業業績の悪化、設備投資の減少、雇用情勢の悪化など景気悪化が深刻さを増してきております。

当社グループの主要取引先である液晶（LCD）業界は、パネル価格の下落に伴う採算悪化及び需要減退に伴い、ほとんどの企業が在庫の解消、パネル価格の安定化をはかるために生産調整を実施しております。このような状況下におきましては新規の投資計画はほとんど見込めない厳しい環境になっております。

このような環境の中、当社グループは、露光技術を応用した液晶パネルの製品自体の原価低減及び製造に係るランニングコスト削減のためのソリューションを提案し、営業活動を進めております。また太陽電池生産設備関連に関しては、現在複数の装置の開発試作を行っております。

受注状況は、上述の通り当四半期から商談が低調な状況下にありますが、累計期間では韓国及び台湾向けを主として受注額は73億1千8百万円（対前年同期比5.8%増）、受注残高は92億7百万円（前年同期は76億4千6百万円）となりました。

検査関連装置事業は、市場では韓国向けが大幅に伸張り、装置では修正装置で数量、金額ともに増加しております。売上高は107億6千2百万円（前年同期比254.4%増）、営業利益は10億7百万円（前期は6億3千7百万円の損失）と大幅に好転いたしました。露光装置事業は装置本体の売上が無かったこと、研究開発支出が増加したこと、3億4千3百万円の損失（前年同期は8千4百万円の損失）となりました。

特別損益については、技術開発機構(NEDO)の「次世代大型低消費電力液晶ディスプレイ基盤技術開発」プロジェクトに参画しており、その助成制度（支出額の概ね半分程）により、助成金5千3百万円を特別利益に、助成金による固定資産圧縮損1千6百万円を特別損失として計上しております。

この結果、連結売上高は107億7千万円（対前年同期比179.2%増）、連結営業利益は6億6千4百万円（前年同期は7億9百万円の損失）、連結経常利益は6億1千3百万円（前年同期は7億5千3百万円の損失）、連結純利益は3億6千4百万円（前年同期は5億2千6百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億3千2百万円増加し、140億1千8百万円となりました。主に「売掛金及び受取手形」の増加16億5千6百万円、第4四半期に出荷予定の仕掛品の増加に伴い「棚卸資産」が13億5千7百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ27億8千7百万円増加し、89億4千8百万円となりました。主に「支払手形及び買掛金」の増加32億6千6百万円、「短期借入金」の減少9億円によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4千5百万円増加し、50億7百万円となりました。主に、連結四半期純利益3億6千4百万円、自己株式の取得9千8百万円、配当の支払1億1千6百万円によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、2千万円増加し、4億9千4百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動の結果取得した資金は12億6千4百万円（前年同期は3億8千5百万円の取得）となりました。資金の取得は主に仕入債務の増加33億1千2百万円、税金等調整前四半期純利益6億4千9百万円、資金の使用は主に、売掛債権の増加16億9千1百万円、棚卸資産の増加13億2千7百万円によります。

投資活動の結果使用した資金は1億1千4百万円（前年同期は5億7千3百万円の使用）となりました。主に有形固定資産の取得による支出5千8百万円、定期預金預け入れ（払い戻し額控除後）による支出5千4百万円によります。

財務活動の結果使用した資金は11億1千3百万円（前年同期は1億8千5百万円の使用）となりました。主に短期借入金の減少額9億円、配当の支払1億1千6百万円、自己株式の取得9千9百万円によります。

によります。

※前年同期比較は参考情報として記載しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想に関しては、平成20年5月15日に公表した予想からの変更はありません。

売上に関しては、装置については全て受注済み案件であり、現時点で納入延伸の情報もないことから達成可能と判断しております。利益面についても、第3四半期までの実績から達成可能と判断しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これにより売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ29百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	686	665
受取手形及び売掛金	8,928	7,271
商品	38	18
原材料	583	802
仕掛品	2,602	1,046
その他	496	589
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,335	10,392
固定資産		
有形固定資産	324	415
無形固定資産	165	184
投資その他の資産		
破産更生債権等	110	114
その他	193	193
貸倒引当金	△110	△114
投資その他の資産合計	193	193
固定資産合計	683	793
資産合計	14,018	11,186
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,756	2,490
短期借入金	2,000	2,900
1年内返済予定の長期借入金	300	—
未払法人税等	210	12
引当金	141	120
その他	503	309
流動負債合計	8,913	5,833
固定負債		
長期借入金	—	300
引当金	35	27
固定負債合計	35	327
負債合計	8,948	6,161

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,219	2,218
資本剰余金	1,875	1,874
利益剰余金	1,231	983
自己株式	△100	△2
株主資本合計	5,226	5,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	0
為替換算調整勘定	△153	△50
評価・換算差額等合計	△156	△50
純資産合計	5,070	5,025
負債純資産合計	14,018	11,186

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,770
売上原価	8,582
売上総利益	2,187
販売費及び一般管理費	1,523
営業利益	664
営業外収益	
受取利息及び配当金	9
その他	5
営業外収益合計	14
営業外費用	
支払利息	21
為替差損	35
その他	8
営業外費用合計	65
経常利益	613
特別利益	
固定資産売却益	0
国庫補助金	53
その他	3
特別利益合計	56
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	1
固定資産圧縮損	16
投資有価証券評価損	2
貸倒損失	0
その他	0
特別損失合計	20
税金等調整前四半期純利益	649
法人税、住民税及び事業税	200
法人税等調整額	83
法人税等合計	284
四半期純利益	364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	649
減価償却費	102
投資有価証券評価損益 (△は益)	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	54
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8
受取利息及び受取配当金	△9
支払利息	21
為替差損益 (△は益)	△13
有形固定資産売却損益 (△は益)	0
有形固定資産除却損	1
固定資産圧縮損	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,691
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,327
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△4
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	3
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,312
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	195
その他	1
小計	1,280
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	△21
法人税等の還付額	0
法人税等の支払額	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△229
定期預金の払戻による収入	174
有形固定資産の取得による支出	△58
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	△7
投資有価証券の取得による支出	△1
貸付けによる支出	△47
貸付金の回収による収入	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	18,500
短期借入金の返済による支出	△19,400
株式の発行による収入	2
自己株式の取得による支出	△99
配当金の支払額	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20
現金及び現金同等物の期首残高	473
現金及び現金同等物の四半期末残高	494

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	検査関連装置 (百万円)	液晶基板製造 (露光)装置 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,762	7	10,770	—	10,770
計	10,762	7	10,770	—	10,770
営業費用	9,722	381	10,104	1	10,105
営業利益(損失△)	1,039	△374	665	△1	664

(注) 1. 事業の区分方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
検査関連事業	LCD欠陥修正装置、LCD欠陥検査装置、LCD座標測定装置
液晶基板製造(露光)装置	露光装置

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、当社での管理部門に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,572	197	10,770	—	10,770
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	155	355	511	△511	—
計	10,728	552	11,281	△511	10,770
営業費用	10,233	393	10,627	△521	10,105
営業利益	495	158	653	10	664

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・・・・韓国、台湾

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、当社での管理部門に係る費用であります。

【海外売上高】

第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	7,151	7,151
II 連結売上高（百万円）	—	10,770
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	66.4	66.4

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・・・・韓国、台湾、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		3,857	100.0
II 売上原価		3,350	86.8
売上総利益		507	13.2
III 販売費及び一般管理費		1,217	31.6
営業損失(△)		△709	△18.4
IV 営業外収益			
1. 受取利息及び受取配当金	12		
2. その他	2	15	0.4
V 営業外費用			
1. 支払利息	27		
2. 為替差損	10		
3. 材料評価損	6		
4. 製品・仕掛品除却損	10		
5. 材料廃棄損	0		
6. その他	3	59	1.5
経常損失(△)		△753	△19.5
VI 特別利益			
1. 貸倒引当金戻入益	0		
2. 製品保障引当金戻入益	47		
3. その他	1	49	1.3
VII 特別損失			
1. 固定資産除却損	0	0	0.0
税金等調整前四半期純損失(△)		△704	18.2
法人税、住民税及び事業税	2		
法人税等調整額	△179	△177	△4.6
四半期純利益		△526	△13.7

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△704
減価償却費	90
貸倒引当金の増減額 (減少△)	108
賞与引当金の増減額 (減少△)	△56
製品保証引当金の増加額	△65
退職給付引当金の減少額	0
受取利息及び配当金	△12
為替差損 (差益△)	0
支払利息・手形売却損	27
有形固定資産除却損	0
売上債権の増減額 (増加△)	2,691
たな卸資産の増減額 (増加△)	△353
その他流動資産の増減額 (増加△)	△31
仕入債務の増減額 (減少△)	△826
破産更生債権の増加額	△109
その他流動負債の減少額	△106
その他固定資産の減少額	6
小計	656
利息及び配当金の受領額	13
利息の支払額	△26
法人税等の支払額	△258
営業活動によるキャッシュ・フロー	385
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金預け入れによる支出	△547
定期預金払い戻しによる収入	304
投資有価証券の取得による支出	△1
有形固定資産の取得による支出	△66
無形固定資産の取得による支出	△225
短期貸付金による支出	△62
短期貸付金の回収による収入	25
長期貸付金の回収による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	24,000
短期借入の返済による支出	△24,100
長期借入金の返済による支出	△25
株式の発行による収入	55
自己株式の取得による支出	△0
配当金支払による支出	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△11
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△384
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1,170
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	785

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

	検査関連装置 (百万円)	液晶基板製造 (露光)装置 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,037	820	3,857	—	3,857
計	3,037	820	3,857	—	3,857
営業費用	3,674	905	4,579	△11	4,567
営業利益（損失△）	△637	△84	△721	11	△709

(注) 1. 事業の区分方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
検査関連事業	LCD欠陥修正装置、LCD欠陥検査装置、LCD座標測定装置
液晶基板製造（露光）装置	露光装置

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、当社での管理部門に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,501	356	3,857	—	3,857
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	884	71	956	△956	—
計	4,385	428	4,813	△956	3,857
営業費用	5,029	496	5,525	△958	4,567
営業利益（損失△）	△643	△68	△711	2	△709

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・韓国、台湾

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、当社での管理部門に係る費用であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	1,658	1,658
II 連結売上高（百万円）	—	3,857
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	43.0	43.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……台湾、韓国、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

6. その他の情報

[生産、受注及び販売の状況]

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	検査関連装置事業 (百万円)	11,512
液晶基板製造 (露光) 装置事業 (百万円)	160	
合計 (百万円)	11,673	

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記金額には、消費税は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	受注高	受注残高
検査関連装置事業 (百万円)	7,288	7,771
液晶基板製造 (露光) 装置事業 (百万円)	29	1,436
合計 (百万円)	7,318	9,207

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記金額には、消費税は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	検査関連装置事業 (百万円)	10,762
液晶基板製造 (露光) 装置事業 (百万円)	7	
合計 (百万円)	10,770	

1. 当第3四半期連結累計期間におけるおもな相手先の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)
L G ジャパン株式会社	2,936	27.3
日本サムスン株式会社	1,694	15.7
AU OPTRONICS Corp.	1,508	14.0
大日本印刷株式会社	1,247	11.6

2. 本表金額は消費税等は含まれておりません。